


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	中学部1年生校外宿泊学習		
	単元(題材)の目標	・予定や役割を知り、責任を持って果たす。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1年6人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	・簡単な指示を理解し、行動できる生徒が多いが、個別に伝えたり確認したりしないと不確実なことも多い。 ・全体指導の中で課題に集中できるような工夫が必要である。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	PC、プロジェクター、スピーカー		
	使用したアプリケーションの名称	パワーポイント		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	パワーポイントによる視覚的な提示に加え、アニメーション動作の際に音を付加することで興味を刺激して内容に集中できるのではないかと考えた。生徒ごとに写真に加えて特徴のある音を割り当てて提示したことで楽しく把握できると考えた。		
活用の状況と支援	○活用場面 ・校外宿泊学習事前指導での一斉指導でパワーポイントによる提示場面で使用した。 ○行った支援 ・パワーポイントの「アニメーション」に効果音を付加することでより注目しやすくした。 ・効果音はwebのフリー効果音サイトからダウンロードして使用した。 ・外部スピーカーを接続してより良い視聴覚環境を整えた。 ○生徒の様子・変容 ・特徴的な効果音を、場面の切り替えや、生徒の役割の提示の際に示すことで、生徒がより画面に注目し、集中できていた。 ・生徒ごとに音を統一することで「自分の音」がわかり、役割を意識することができた。 ・音と映像が同時に変化することで、より楽しみながら見ることができた。 ・生徒の注目度が上がったことで、行事の内容や自分の役割、班編制などをより理解でき、I C T 活用の効果があったと言える。			